

番号	27
著者	Bakır M, Türel O, Topachevskiy O.
雑誌名	BMC Health Serv Res.
タイトル	Cost-effectiveness of new pneumococcal conjugate vaccines in Turkey: a decision analytical model.
発表年	2012
分析国	Turkey
分析対象	PCV7(3+1)
比較対照	・PHiD-CV(3+1) ・PCV13(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	ディシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	なし
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	1年
結果(生産性損失なし)	1)費用削減的;費用削減的 2)費用削減的;費用削減的 3)\$65/LY;費用削減的
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)PHiD-CV対PCV7(LY; QALY) 2)PCV13対PCV7(LY; QALY) 3)PHiD-CV対PCV13(LY; QALY)

番号	28
著者	Earnshaw SR, McDade CL, Zanotti G, Farkouh RA, Strutton D.
雑誌名	BMC Infect Dis.
タイトル	Cost-effectiveness of 2 + 1 dosing of 13-valent and 10-valent pneumococcal conjugate vaccines in Canada.
発表年	2012
分析国	Canada
分析対象	PCV13(2+1)
比較対照	PCV10(2+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	エクセルを用いた決定解析モデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの取集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	記載なし
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1)費用削減的/QALY 2)費用削減的/QALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)Base-case;間接効果の考慮あり 2)直接効果のみ考慮あり

番号	29
著者	Choi YH, Jit M, Flasche S, Gay N, Miller E
雑誌名	PLoS One
タイトル	Mathematical modelling long-term effects of replacing Pevnar7 with Pevnar13 on invasive pneumococcal diseases in England and Wales
発表年	2012
分析国	England, Wales
分析対象	PCV13
比較対照	PCV7
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	マイクロシミュレーション
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数
割引率	-
対象イベント	IPD
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	0
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	0
分析期間	20年
結果(生産性損失なし)	ICER評価なし PCV13の導入は発生イベント数を減少させる
結果(生産性損失あり)	-
備考	費用データなし、臨床効果のみ評価 IPDに含まれる傷病名不明

番号	30
著者	van Hoek AJ, Choi YH, Trotter C, Miller E, Jit M.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	The cost-effectiveness of a 13-valent pneumococcal conjugate vaccination for infants in England.
発表年	2012
分析国	England
分析対象	PCV7+PCV13(2+1)
比較対照	PCV7のみ(2+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	乳児 (詳細不明)
分析モデル	dynamic transmission model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの取集方法	-
効果指標	イベント数、QALY
割引率	3.5%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	0
分析期間	30年
結果(生産性損失なし)	1) QALY減少8,148; 費用£31,662,654 2) QALY減少9,532; 費用£43,829,752 3) QALY減少7,186; 費用£26,721,002
結果(生産性損失あり)	-
備考	1) PCV7接種最終年(年単位) 2) PCV接種中止30年後(年単位) 3) PC13接種変更30年後(年単位) ICERの記載なし

番号	31
著者	Blank PR, Szucs TD.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-effectiveness of 13-valent pneumococcal conjugate vaccine in Switzerland.
発表年	2012
分析国	Switzerland
分析対象	・PCV13(2+1) ・PCV7+PCV13(2+1)
比較対照	PGV7(2+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	マルコフ類似モデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	10年
結果(生産性損失なし)	1)優位、優位 2)優位、優位
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)PCV13対PCV7 2)PCV7+PCV13対PCV13

番号	32
著者	Wu DB, Chang CJ, Huang YC, Wen YW, Wu CL, Fann CS.
雑誌名	Value Health.
タイトル	Cost-effectiveness analysis of pneumococcal conjugate vaccine in Taiwan: a transmission dynamic modeling approach.
発表年	2012
分析国	Taiwan
分析対象	PCV13(3+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	乳児 (詳細不明)
分析モデル	dynamic transmission model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護、死亡による労働損失
生産性損失データの取集方法	人頭制で推計
効果指標	イベント数、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、IPD、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	1
分析期間	10年
結果(生産性損失なし)	1)\$38,045/LYG 2)\$22,050/LYG
結果(生産性損失あり)	1)\$18,299/LYG 2)\$2,304/LYG
備考	1)4回接種スケジュール 2)3回接種スケジュール IPDとして含む傷病名不明

番号	33
著者	Newall AT, Creighton P, Philp DJ, Wood JG, MacIntyre CR.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	The potential cost-effectiveness of infant pneumococcal vaccines in Australia.
発表年	2011
分析国	Australia
分析対象	-PCV13(3+0) -PHiD-CV(3+1)
比較対照	PCV7(3+0)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	5歳未満
分析モデル	マルコフ類似モデル(記載はなし)
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY
割引率	5%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	結果は5年、後遺症費用は100年で算定
結果(生産性損失なし)	1)優位 2)優位 3)A\$64,840/QALY 4)A\$50,188/QALY 5)A\$55,311/QALY 6)A\$54,959/QALY 7)A\$77,699/QALY 8)A\$85,038/QALY 9)A\$84,572/QALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)PHiD-CV対PCV7 2)PCV13対PCV7 3)PCV7対ワクチン接種なし 4)PHiD-CV対ワクチン接種なし 5)PCV13(3+0)対ワクチン接種なし 6)PCV13(3+1)対ワクチン接種なし 7)PHiD-CV対ワクチン接種なし、追加ワクチン費用\$100 8)PCV13(3+0)対ワクチン接種なし、追加ワクチン費用\$100 9)PCV13(3+1)対ワクチン接種なし、追加ワクチン費用\$100

番号	34
著者	Tyo KR, Rosen MM, Zeng W, Yap M, Pwee KH, Ang LW, Shepard DS.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-effectiveness of conjugate pneumococcal vaccination in Singapore: comparing estimates for 7-valent, 10-valent, and 13-valent vaccines.
発表年	2011
分析国	Sigapore
分析対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCV7(2+1)</li> <li>・PCV13(2+1)</li> <li>・PCV10(2+1)</li> </ul>
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	5歳未満
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)\$5,562/QALY</li> <li>2)\$43,275/QALY</li> <li>3)\$45,100/QALY</li> <li>4)\$37,644/QALY</li> </ul>
結果(生産性損失あり)	-
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)PCV7(2009年モデル) 対ワクチン接種なし</li> <li>2)PCV7(2011年)モデル対ワクチン接種なし</li> <li>3)PH1D-CV対ワクチン接種なし</li> <li>4)PCV13対ワクチン接種なし</li> </ul>



番号	35
著者	Nakamura MM, Tasslimi A, Lieu TA, Levine O, Knoll MD, Russell LB, Sinha A.
雑誌名	Int Health.
タイトル	Cost effectiveness of child pneumococcal conjugate vaccination in middle-income countries.
発表年	2011
分析国	中所得国
分析対象	-PCV7(3+0) -PCV13(3+0) -PCV10(3+0)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	デシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの収集方法	親の時間、交通費
効果指標	イベント数、DALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、敗血症、IPD
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	0
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1)\$1,500/DALY 2)\$920/DALY 3)\$800/DALY 4)\$1,900/DALY 5)\$1,300/DALY 6)\$1,100/DALY 7)1,600/DALY 8)\$1,000/DALY 9)\$900/DALY
備考	1)中所得国家(下位);PCV7対ワクチン接種なし 2)中所得国家(下位);PCV10対ワクチン接種なし 3)中所得国家(下位);PCV13対ワクチン接種なし 4)中所得国家(上位);PCV7対ワクチン接種なし 5)中所得国家(上位);PCV10対ワクチン接種なし 6)中所得国家(上位);PCV13対ワクチン接種なし 7)中所得国家(全体);PCV7対ワクチン接種なし 8)中所得国家(全体);PCV10対ワクチン接種なし 9)中所得国家(全体);PCV13対ワクチン接種なし 敗血症は接種対象外の小児および成人において考慮する

番号	36
著者	Urueña A, Pippo T, Betelu MS, Virgilio F, Giglio N, Gentile A, Jimenez SG, Jáuregui B, Clark AD, Diosque M, Vizzotti C.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-effectiveness analysis of the 10- and 13-valent pneumococcal conjugate vaccines in Argentina.
発表年	2011
分析国	Argentina
分析対象	・PCV13(3+1) ・PCV10(3+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	TRIVAC model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	交通費、親の介護
生産性損失データの収集方法	文献値
効果指標	イベント数、YLL、DALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症/敗血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	1
分析期間	20年
結果(生産性損失なし)	1) \$8,973/DALY 2) \$10,948/DALY
結果(生産性損失あり)	3) \$8,546/DALY 4) \$10,510/DALY
備考	1) PCV10対ワクチン接種なし 2) PCV13対ワクチン接種なし 3) PCV10対ワクチン接種なし 4) PCV13対ワクチン接種なし

番号	37
著者	Díez-Domingo J (Díez-Domingo J), Ridaó-López M (Ridaó-López M), Gutiérrez-Gimeno MV (Gutiérrez-Gimeno MV), Puig-Barberá J (Puig-Barberá J), Lluch-Rodrigo JA, Pastor-Villalba E
雑誌名	Vaccine
タイトル	Pharmacoeconomic assessment of implementing a universal PCV-13 vaccination programme in the Valencian public health system (Spain)
発表年	2011
分析国	Spain
分析対象	PCV13(2+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	ディシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、敗血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1) \$10,407/QALY; \$12,794/LY 2) \$34,702/QALY 3) \$5,045/QALY 4) 2,744/QALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)基本分析(PCV13対ワクチン接種なし) 2)0%Herd Effect 3)10%Herd Effect 4)20%Herd Effect いずれもセロタイプの置き換えは25%、その他0%、35%のシナリオあり

番号	38
著者	Tasslimi A, Nakamura MM, Levine O, Knoll MD, Russell LB, Sinha A.
雑誌名	Int Health.
タイトル	Cost effectiveness of child pneumococcal conjugate vaccination in GAVI-eligible countries.
発表年	2011
分析国	72の開発途上国(GAVI対象国)
分析対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>•PCV7(2+1)</li> <li>•PCV10(2+1)</li> <li>•PCV13(2+1)</li> </ul>
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	conceptual model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	介護者の費用
生産性損失データの取集方法	文献値
効果指標	イベント数、DALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、NPNM IPD
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	0
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)\$163/DALY</li> <li>2)\$112/DALY</li> <li>3)\$105/DALY</li> <li>4)\$146/DALY</li> <li>5)\$88/DALY</li> <li>6)\$77/DALY</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>1)PCV7対ワクチン接種なし、直接効果のみ</li> <li>2)PCV10対ワクチン接種なし、直接効果のみ</li> <li>3)PCV13対ワクチン接種なし、直接効果のみ</li> <li>4)PCV7対ワクチン接種なし、直接効果と間接効果</li> <li>5)PCV10対ワクチン接種なし、直接効果と間接効果</li> <li>6)PCV13対ワクチン接種なし、直接効果と間接効果</li> </ul> 死亡率別CERあり

番号	39
著者	Boccalini S, Azzari C, Resti M, Valleriani C, Cortimiglia M, Tiscione E, Bechini A, Bonanni P.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Economic and clinical evaluation of a catch-up dose of 13-valent pneumococcal conjugate vaccine in children already immunized with three doses of the 7-valent vaccine in Italy.
発表年	2011
分析国	Italy
分析対象	PCV7+PCV13(3+1)
比較対照	PCV7(3+0)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	5歳未満
分析モデル	mathematical simulation model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、LY
割引率	効果0%、費用3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、敗血症
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	0
分析期間	5.5年
結果(生産性損失なし)	1)€12,250/LY 2)€15,176/LY 3)€18,150/LY 4)€22,093/LY 5)€12,614/LY 6)€15,521/LY 7)€18,483/LY 8)€22,419/LY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)生後24ヵ月未満投与、割引率なし 2)生後36ヵ月未満投与、割引率なし 3)生後48ヵ月未満投与、割引率なし 4)生後60ヵ月未満投与、割引率なし 5)生後24ヵ月未満投与、割引率3% 6)生後36ヵ月未満投与、割引率3% 7)生後48ヵ月未満投与、割引率3% 8)生後60ヵ月未満投与、割引率3%

番号	40
著者	Rubin JL, McGarry LJ, Strutton DR, Klugman KP, Pelton SI, Gilmore KE, Weinstein MC
雑誌名	Vaccine
タイトル	Public health and economic impact of the 13-valent pneumococcal conjugate vaccine (PCV13) in the United States
発表年	2010
分析国	US
分析対象	PCV13(3+1)
比較対照	PCV7(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2才未満
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの取集方法	文献値、欠動:子が17歳になるまで換算
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	10年
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1) 優位: 優位 2) \$16,822/QALY; \$47,065/LY 3) 優位: 優位 4) 優位: 優位 5) 優位: 優位 6) 優位: 優位
備考	1) 基本分析(PCV13対PCV7) 2) full direct protection (IPD)、half direct protection (肺炎およびAOM)、indirect protection (考慮なし) 3) full direct protection (有)、indirect (なし) 4) full direct protection (有)、indirect (IPD) 5) full direct protection (有)、indirect (IPD、肺炎) 6) full direct protection (有)、indirect (5歳未満)

番号	41
著者	Mark H Rozenbaum, Elisabeth AMSanders, Albert Jan van Hoek, Angelique G S C Jansen, Arie van der Ende, Gernie van den Dobbelsteen, Gerwin D Rodenburg, Eelko Hak, Maarten J Postma
雑誌名	BMJ
タイトル	Cost effectiveness of pneumococcal vaccination among Dutch infants: an economic analysis of the seven valent pneumococcal conjugated vaccine and forecast for the 10 valent and 13 valent vaccines
発表年	2010
分析国	オランダ
分析対象	-PCV7(3+1) -PCV13(3+1) -PCV10(3+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	ディシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護、本人の欠勤
生産性損失データの収集方法	文献値
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	効果1.5%、費用4%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1)€113,891/QALY 2)€52,947/QALY 3)€50,042/QALY
備考	1)基本分析(PCV7対ワクチン接種なし、間接効果考慮なし) 2)基本分析(PCV10対ワクチン接種なし、10%間接効果あり) 3)基本分析(PCV13対ワクチン接種なし、10%間接効果あり) 分析期間は5年だが、長期予後費用は生涯で推計 その他合計12シナリオあり

番号	42
著者	Chuck AW, Jacobs P, Tyrrell G, Kellner JD
雑誌名	Vaccine
タイトル	Pharmacoeconomic evaluation of 10- and 13-valent pneumococcal conjugate vaccines
発表年	2010
分析国	Canada
分析対象	PCV13(3+1)
比較対照	・PCV7(3+1) ・PCV10(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	ディシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの取集方法	-
効果指標	イベント数、QALY
割引率	0%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	1年
結果(生産性損失なし)	1) 優位/QALY 2) 優位/QALY 3) 優位/QALY 4) 優位/QALY 5) 優位/QALY 6) 優位/QALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)PCV7対PH1D-10(直接効果のみ) 2)PH1D-10対PCV13(直接効果のみ) 3)PCV13対PH1D-10-N(直接効果のみ) 4)PCV7対PH1D-10(関節効果含む) 5)PH1D-10対PCV13(関節効果含む) 6)PCV13対PH1D-10-N(関節効果含む)



資料 2 : 成人を対象とした肺炎球菌ワクチンの経済評価研究

番号	1
著者	渡辺彰, 井上幸恵, 大野孝順
雑誌名	呼吸器内科
タイトル	本邦の高齢者に対する成人用肺炎球菌ワクチン定期接種プログラムであるPPV23単回接種に対するPCV13とPPV23連続接種の費用効果分析
発表年	2015
分析国	日本
分析対象	PCV13+PPV23
比較対照	PPV23
1:小児/2:成人	2
分析対象集団 (接種対象)	65歳以上の高齢者
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数, QALY, LY
割引率	2%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり, 0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ, 0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり, 0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ, 0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり, 0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ, 0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり, 0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ, 0:それ以外)	0
中耳炎	0
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1)147,671円/QALY 2)701,209円/QALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)NBPIに対するPPV23のワクチン効果=0% 2)NBPIに対するPPV23のワクチン効果=7%

番号	2
著者	Rodríguez-GonzálezMoro JM, Menendez R, Campins M, Lwoff N, Oyagüez I, Echave M, Rejas J, Antónanzas F.
雑誌名	Value Health.
タイトル	Cost-Effectiveness Of A 13-Valent Conjugate Pneumococcal Vaccination Program In Copd Patients Aged 50+ Years In Spain.
発表年	2015
分析国	Spain
分析対象	PCV13
比較対照	PPV23
1:小児/2:成人	2
分析対象集団 (接種対象)	50歳以上のCOPD患者
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、IPD
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	0
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	1)€24,557/LYG 2)€26,986/LYG 3)€7,664/LYG 4)€5,030/LYG
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)分析期間5年、割引率3%、ワクチンカバー率80% 2)分析期間5年、割引率5%、ワクチンカバー率80% 3)分析期間5年、割引率3%、ワクチンカバー率66% 4)分析期間生涯、割引率3%、ワクチンカバー率80%

番号	3
著者	Rodríguez González-Moro JM, Menéndez R, Campins M, Lwoff N, Oyagüez I, Echave M, Rejas J, Antoñanzas F.
雑誌名	Clin Drug Investig.
タイトル	Cost Effectiveness of the 13-Valent Pneumococcal Conjugate Vaccination Program in Chronic Obstructive Pulmonary Disease Patients Aged 50+ Years in Spain.
発表年	2015
分析国	Spain
分析対象	PCV13
比較対照	PPV23
1:小児/2:成人	2
分析対象集団 (接種対象)	50歳以上のCOPD患者
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、IPD
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	0
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1)€1,844/QALY、€1,245/LYG 2)€9,800/QALY、€7,415/LYG 3)€3,475/QALY、€2,494/LYG 4)優位、優位 5)優位、優位
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)全年齢 2)50-64歳 3)65-74歳 4)75-84歳 5)85-99歳